

入居者をもっと知るために
～情報共有のポイントを掴もう～

入居者情報って？

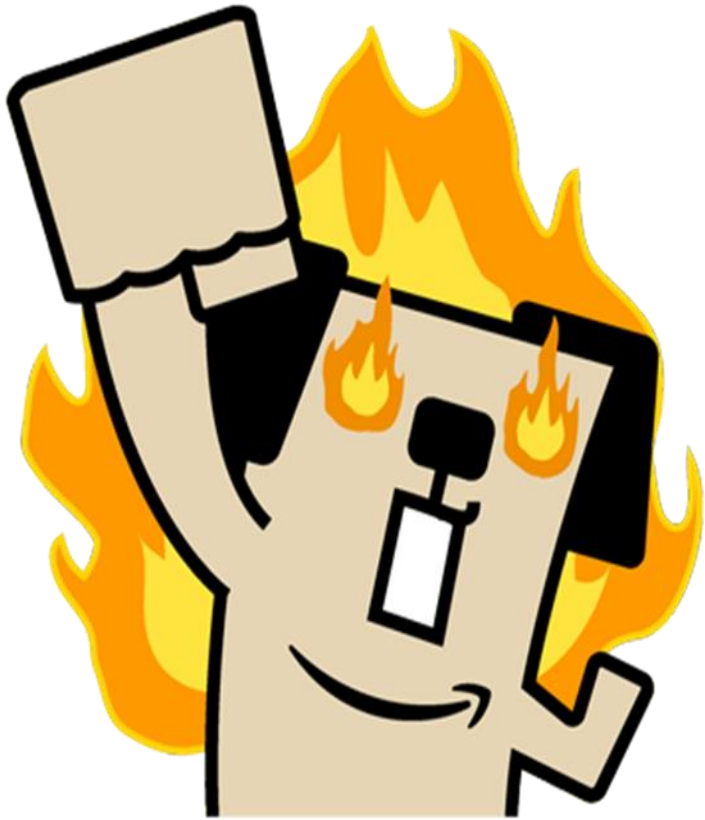
本日から入居される新規入居者様に対し、介護現場で働く職員が聞きたいこと、知りたい「入居者情報」とは何でしょう。

- ①名前や住所、要介護度等の個人情報。
- ②家族構成、緊急時の連絡先。
- ③病歴や服用中のお薬について。
- ④食事や排泄面について。
- ⑤麻痺などの身体状況。 など



膨大な情報量でパンクしそう

入居者を知る為の情報収集



- ★初対面で、全ての情報を得る必要はない
- ★入居者⇔介護者の関係性(なじみの関係)
- ★よく見よう・よく聴こう・よく知ろうとする意識
- ★日常の些細な場面での気づきや発見からひも解く

生活の継続

情報収集(アセスメント)は、「今日のあなた」だけを知る事ではありません。その方の「生活歴」を知ることによって【ひととなり】を理解しましょう。

居住環境や家族との関係性も重要です。普段の何気ない会話で拾った情報から、その人らしさを知る事もできます。

施設での生活のすべてを居宅での生活と全く同じにすることはできませんが、日々の暮らしに「自分らしさ」や「私の居場所」を感じられる環境作りが入居者の満足や安心に繋がります。

その方の人生に
思いをはせる



自律支援 ・ 自己決定

使い慣れた自分の食器で食べたい。お肉が好き。

真っ暗は嫌い。
枕元にお茶を準備してほしい。

- ★統一したケア
- ★注意事項(リスク)
- ★できる事・できない事
- ★好み・こだわり

熱いお風呂が好き。
同性介助希望。

トイレの時はズボンの上げ下げを手伝ってほしい。

しかし、これらの情報は、未来永劫同じであるとはいえません。

人は、変化する生き物だからです。その日の気分で変わる事もあれば、病気やケガ等により状態変化することもあるでしょう。

個別ケアの充実

情報共有

- 自分らしさ
- 習慣、こだわり
- コミュニケーション

ケアの統一

- ケアの目標を統一する
- 安心と安全

顧客満足



個別援助計画書

個別援助計画書（2）

ペット（ ）氏名： ○○ ○○ 様

作成日： 平成29年04月25日



短期目標	
① 転倒や転落なく安全に過ごすことが	⑤ 身体機能の低下を予防する。
② 異常時は医師に報告し対応する。	⑥ 他者との円滑なコミュニケーションが図れる。
③ 腎機能の低下を予防できる。	⑦ 貴重品の管理ができ、各種手続きが
(部外)の維持)	
⑧ 入浴が一部介助で出来る。	⑧ スムーズに行える。

考えられるリスク	支援方法
ベッドやイスからの転落リスク	後目で移乗時の観察を行い誘えを模倣する。
骨粗鬆症による骨折リスク	種々な内服介助を行い身体を無理に捻ったり衝撃が加わるような介助は行わない。
造口ニットに行ったり思い込んだ行動で行動不明になるリスク	造口ニット下を出入りする際には必ず清潔に保ち、入浴の際は必ず清潔に保つ。

食事形態	主食	副食	汁物・水分
	普通ご飯/普通粥	刺身/普通量	具なしトロミなし半量



入浴	支援が必要な事	
	形態 お風呂は熱い方が好き。同性介助希望なし。	形勢 お風呂は熱い方が好き。同性介助希望なし。

排便	
排便方法 常時トイレ使用	排便対応 定期薬：定期薬なし。随時薬：なし。未練便時：取り決めなし。自立。

夜間帯に注意すること	
体位交換 問題なく、行っていない。	目覚めが早く5:00以降には覚醒している。自分で行ったりおしり拭きや排泄物の処理などを行う。夜間帯にはトイレに行くことがある。
巡回 1時間毎に1回本人希望	

服装	
服装 着替えは必要時にズボンやパンツの上げ下げや移乗介助を行う。着替えにハットを準備し交換された時はハットの脱着を促す。	服装 着替えは必要時にズボンやパンツの上げ下げや移乗介助を行う。着替えにハットを準備し交換された時はハットの脱着を促す。

口腔ケア	
口腔ケア 歯磨き 歯磨き 歯磨き	口腔ケア 歯磨き 歯磨き 歯磨き

健康観察記録シート	
平均体温	36.2 °C
体温	36.2 °C
血圧	122/ 67
脈拍	60
血中酸素濃度	5

移動手段	
移動手段 自走式車イス使用。短距離は自走して遠くは短距離は介助を行う。	移動手段 自走式車イス使用。短距離は自走して遠くは短距離は介助を行う。

生活環境	
生活環境 生活環境 生活環境	生活環境 生活環境 生活環境

1. 現在処置中の外傷や褥瘡はありますか？ 処置部位や処置内容
2. 医師からの指示や機能訓練、ケア上の変更の必要な変更はありますか？
【機能訓練指導員】 記入者：() 記入日(月日)
①ケア上に変更されている生活習慣に支障はありますか？ (有・無)
②今後の短期目標
③内容の変更

ユニット (2階2ユニット) 氏名 : 様

短期目標	
① 必要な栄養を摂ることができる【低リスクの維持】	⑥ トイレでの排泄が維持できる
② 異常時は医師に報告し指示に従う	⑦ 清潔を保ち快適に過ごせる
③ イレウスを再発しない	
④ 気持ちが安定して過ごせる	
⑤ 怪我をしない	

食事形態	主食	副食	汁物・水分
	ミキサー粥/普通量	ゼリー食/普通量	具なしトロミ(中)/普通量
こだわり 注意が必要な事	嫌いなものやアレルギーはなく何でも食べる。 《朝食時にヨーグルトと漬物提供》 食器やスプーン箸は手に持たれるが思うように手が動かず自分で食べることが出来ず介助が必要。口に溜め込まれるので飲み込みを確認する。ムセ込みや窒息誤嚥に注意が必要。食べこぼしあり食事の時にはタオルを使用。食事の時にはイスへ移乗介助を行う。		

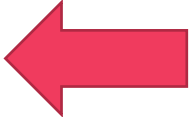


入浴		支援が必要な事
形態	こだわり	
座位式浴槽	日によって身体の状態が違う。その時によって対応をしてほしい。浴槽を踏げず座ったまま浴槽に入りたい。同性介助希望ない。	座位式浴槽を使用。衣類着脱時協力動作が得られるよう声掛けを行う。 【衣類着脱はベッド上で行っておよそ手すりを握って行う。声掛けは自分でできる範囲で行う。】 手を通すことが出来るが乱れた部分を手すりを握って行う。声掛けは自分でできる範囲で行う。 上げ下げは介助が必要。移乗移動介助(チェアを押す)を行う。声掛けを行う。【手が伸びず介助が必要】 身時協力動作が得られるよう声掛けを行う。【手が伸びず介助が必要】 【浴槽内に入る時間は3～5分程度で40℃前後】頭をドライヤーで乾かし櫛を使い整髪介助を行う。爪きりと耳かきを行う。

排泄方法	注意が必要な事	排便対応
日中：トイレ 夜間：オムツ	2時間毎のトイレ声掛け誘導を行う。下剤服用時や排泄に応じてパット類を使用する。皮膚状態の観察を行う。排尿排便の量や性状の観察を行う【排便状態に注意し必要に応じ看護職へ報告し対応すること】	定期薬：センゾドール錠12mg「974」。 臨時薬：ラキヂート0.75%。ナレミンソフト坐薬10mg。 未排便時：未排便3日目にラキソ10～15滴。4日目坐薬対応。

整容		口腔ケア
整髪	洋服	洗面
整容美容どちらも可。耳が出る程度で3～4カ月に1回程度。	好みはなく家族が持参した服。	蒸しタオルと櫛で洗面整髪介助が必要。
食後スポンジブラシを準備。全般介助対応(義歯なし)。歯科医歯科衛生士の手入れ希望はなし(家族希望)。		

福祉用具・移動手段	クラブ活動	リハビリ内容
介助型車イス。押す介助が必要。	よかばっ会(歌部分)。	① トイレでの排泄。 ② 上肢(肘関節)の曲げ伸ばし。 ③ 食事の際は椅子への座り直して座位を保つ。



ケアプランの短期目標



食事形態
使用食器の写真
食事時のこだわり・注意



入浴(支援が必要な事)
排泄(方法・注意点・未排便の対応)



整容面・口腔ケア
移動手段・クラブ活動・リハビリ内容

個別援助計画書(ショートステイ)

家族の意向	近々おじいちゃんの入院も控えて自分だけでは不安なので、SSが空いている間お願いしたいです。
部屋の間取り	
考えられるリスクと支援方法	
[転倒]	・・・移乗は一部介助し、移動は普通型車椅子使用する。 ベッドは低床、ジョイントマットを敷き、セサ設置する。
[便汚染]	・・・排泄時は必ずパットを確認し清潔を維持する。
[トラブル]	・・・「～を盗まれた」と言われた時は納得されるような説明。 他者との仲裁も必要。
夜間帯に注意すること	
体位変換	・トイレ覚醒ありセンサーマット使用する。 (覚醒されない日はパット汚染あっている) ・腕時計は寝る時も装着していきたい。
なし	
巡回	
3時間毎	
※SS受け入れ時状態チェック表も確認してください。	

- ショートステイのご利用者にも「個別援助計画書」を作成しています。
- 在宅での生活をできる限り維持していただけるよう、居室内の間取りも統一できるようにしています。



ルールを決める

作成の根拠(目的)を理解する。

変更や追記のタイミング

更新頻度

誰が更新するのか

ケアマネージャーや他職種との連携

写真の取り込みで、見やすく・使いやすいものに。

情報収集シート部分を活用し多職種連携。